

通信教育制度研究会（第Ⅳ期第1回）のご案内

下記の通り、第Ⅳ期第1回 通信教育制度研究会（代表：鈴木克夫、協賛：日本通信教育学会）を開催します。

通信教育制度研究会は、研究発表および情報交換を通じて通信教育の制度的側面に関する考察を深めることを目的に開催する私的研究会であり、第Ⅰ期（1999～2000年、15回）、第Ⅱ期（2012年～2015年、21回）、第Ⅲ期（2021年、1回）に続き、この度、第Ⅳ期をスタートすることにしました。

メンバーシップ制はとらず、どなたでも参加いただけますので、参加を希望する方は、下記までお申込み下さい（日本通信教育学会事務局とは異なりますのでご注意ください）。

テーマ： いま通信制高校に何が起きているか

趣旨： 近年、通信制高校は急速な拡大、普及を遂げ、それを取り巻く環境も大きく変化しています。とりわけ、文部科学省は、従来の「規制緩和」から、ガイドラインの策定やそれに基づく点検調査の実施、自己評価の実施義務と学校関係者評価の努力義務など、「規制強化」へと舵を切っています。また、全国私立通信制高等学校協会の会員校数が急増するなど、通信制高校の質保証・質向上の在り方が大きく動いています。

一方、通信制大学の質保証・質向上はどうか。文部科学省中央教育審議会大学分科会質向上・質保証システム部会では、通信制大学関係者のヒアリングは行われたものの、具体的な動きは今のところ見られません。同じ「通信制」でも、高校と大学とで文部科学省の対応に温度差があるのはなぜなのでしょう。本研究会では、通信制高校の現状を正しく把握するとともに、通信制大学も含めた「通信制」の教育の質保証・質向上の在り方について議論したいと思います。

なお、手島純編著『通信制高校のすべて2.0－「いつでも、どこでも、だれでも」の学校－』（2025年、彩流社）を参考文献とします。

日時： 2026年3月24日（火）13:00～16:30（終了後に懇親会）

場所： 安保ホール702号室（オンラインでの配信はありません）
名古屋市中村区名駅3-15-19（JR名古屋駅から徒歩3分）
<https://www.abohall.com/access/>

プログラム：

- ・13:00 趣旨説明 鈴木克夫
- ・13:10 問題提起 「いま通信制高校に何が起きているか－通信制大学への示唆－」
鈴木克夫（桜美林大学教育探究科学群教授、日本通信教育学会会長）
- ・13:50 指定討論 ①内田康弘（愛知学院大学教養部准教授）
②吾妻俊治（東海大学付属望星高等学校校長、全国私立通信制高等学校協会会長）
- ・14:50 休憩
- ・15:00 自由討議
- ・16:30 閉会
- ・17:00 懇親会（会費別途）

主催： 通信教育制度研究会（代表：鈴木克夫、協賛：日本通信教育学会）

参加費： 無料（懇親会費は別途）

参加方法： 以下のフォームに必要事項を入力し、送信してください。

<https://forms.gle/582kkSWFMB2y5Qw66>

締切： 2026年3月15日（日）※ただし、定員になり次第、締め切らせて頂きます。

連絡・問合せ先： 鈴木克夫（ksuzuki@obirin.ac.jp）